

ホルター心電図検査とは

日常生活をしながら長時間連続して心電図を記録する検査で、発明者のノーマン・ホルター博士にちなんで、この名前と呼ばれています。

小型の心電図記録器を胸部にテープで固定して、一日過ごしていただき、翌日に機器を取り外して、記録された心電図を調べます。

検査方法

胸部に数ヶ所電極を付けて、心電図を一定時間記録します。検査中は記録器を腰に巻いて持ち運んでいただき、入浴以外の普段通りの生活をしていただきます。

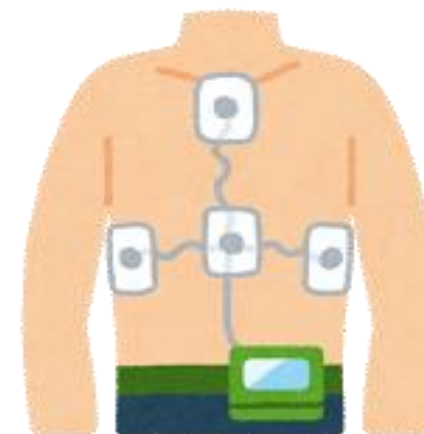
行動記録カードをお渡ししますので、この検査を行っている間の行動を記録してください。また、何か症状がありましたら、その時間と内容を書くとともに、ホルター心電計にあるイベントボタンを押して下さい。症状があった時間が記録されます。



ホルター心電図検査でわかること

仕事中や食事時、睡眠中も常に心電図を記録するので、持続時間の短い脈の乱れや、狭心症発作など、短時間記録の検査では捕らえることが難しい心電図変化を検出することに有用な検査です。

- ① 自覚症状と心電図変化の関係
- ② 不整脈の種類と重症度
- ③ 不整脈の治療薬を服用している場合、その効果
- ④ 狭心症の有無とその重症度
- ⑤ 狭心症の治療薬を服用している場合、その効果
- ⑥ ペースメーカーを入れている場合、正常に作動しているか



ホルター心電図検査のあれこれ
Q&A よくある質問にお答えします

Q：普通の心電図とは、何が違うのですか？

A：一般の心電図（12誘導心電図）は記録時間が短いため、胸痛発作や動悸で受診されても、心電図に異常が現れない場合があります。ホルター心電図は長時間装着していただきますので、症状があるときの心電図を記録できる確率が高まります。

Q：以前に検査を実施したとき、電極でかぶれてしまった。

A：申し訳ありません。記録中に電極が外れないように、しっかりと貼り付ける必要があります。皮膚がかぶれる場合があります。お肌を保護するジェルをご用意しておりますので、皮膚の弱い方は、担当技師にお知らせください。

Q：お風呂に入れますか？

A：記録器は耐水性ではありませんので、入浴やシャワーは厳禁です。また、記録器に強い衝撃を与えないようにご注意ください。その他の注意点として、電気毛布などの使用は避けてください。なお、携帯電話は通常通り使用していただいてかまいません。

